

紫陽花・あじさい

校 長 武井 正明

花材のメモを置いていただくようになってから、週明けの朝の生徒玄関は、お花の鑑賞に加えて、楽しみが増えました。花の名前を知るといのは、その花に親しみが湧きます。

昨日の朝も、テーブルにメモが置いてありました。「花材・モミジ・宿根スイトピー・アジサイ」嬉しいメッセージ、今日も確かに頂戴しました。

へえ～こんなに暑い夏にモミジか。漢字で書くと「紅葉」…秋の花だと思っていました。そして「赤いスイトピー」ではなく「白いスイトピー」これも松田聖子の歌から、てっきり春先の花かと思って調べてみると、宿根スイトピーは6月から8月が開花だとわかりました。そして小ぶりの、青が深く鮮やかなアジサイと、蒸し暑い朝とは全く異なる、そこだけ涼やかな空気が流れているような感じになっています。

みなさんはアジサイを漢字で書けますか？

私がアジサイを「紫陽花」と書くことを知ったのは、高1の時。さだまさしの「長崎小夜曲」という名曲に出逢った時です。

♪ ～悲しみはいつか 紫陽花のように 穏やかに色を 変えてゆくはず～

このフレーズが大好きで、よく聴いていました。その年の秋、長岡市立劇場でのコンサートでは、アンコールで長崎小夜曲が歌われました。私は、この漢字の「紫陽花」という表記が好きです。漢字でなければ出せない、独特な味わいですよ。

「あじさいのうた」…これも知っている年代は限られているかもしれません。

歌うのは原由子。サザンオールスターズ桑田佳祐の奥様。このふたりの歌は彼らの地元、鎌倉や江の島の風景をモチーフにしているものが、とても多いです。この曲も、雨の6月、鎌倉明月院の紫陽花、を連想させます。

大学4年になる春。それまでのFMはNHK だけでした。それが、民間の「FM新潟」が開局されることとなり、その試験放送で、頻繁にかかっていたのがこの曲でした。

これからいろんな曲や番組が、新しいFMで放送されるのだろうな、とワクワクしていた自分を思い出します。

この曲も、古さを全く感じない。聴くと当時を思い出す。

♪～だんだん好きになって そして だんだん恋になる～

やはり、サザンは天才ですね。

